

部局名	安全環境部	所属名	清掃センター	所属長名	巢立 弘志	電 話	483-4521
-----	-------	-----	--------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3236		事務事業名称	粗大ごみ処理施設管理事業					短縮コード	経常	3236	臨時	3237
予算区分	会計	01	一般会計	款	04	衛生費	項	02	清掃費	目	02	塵芥処理費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律。							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
昭和57年に粗大ごみ処理施設を設置し，粗大ごみの中間処理を開始した。事業概要については，一般持込み粗大ごみを破砕処理後，有価物と可燃物に選別し，それぞれ，売り払い及び焼却処理等を実施している。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	03	安全・環境共生都市をめざして						
粗大ごみ処理施設の老朽化により処理能力が低下しつつあるが，社会の再資源化への取り組みがなされ，本施設で処理する量も少なくなりつつある。					大項目（節）	03	環境・衛生						
					中 項 目	02	ごみ処理						
					小項目（施策）	02	環境に配慮した適正なごみ処理の推進						
					細 項 目	02	焼却施設等の整備						
				実施計画の計画事業									
計画事業の位置付けの有無			☐	計 画 事 業 期 間		～			計 画 事 業 費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	粗大ごみ							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成21年度に実際に行ったこと： 粗大ごみとして収集した廃棄物を中間処理するとともに，廃棄物の中から再資源化できる自転車と布団及び家電製品等を資源化として処理した。							
	※平成22年度に計画していること： 粗大ごみ処理施設の適正管理と再資源化の推進。							
意図 （何を狙っているのか）	粗大ごみの再資源化を更に進めて，処理量を削減する。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	2 0 年度	2 1 年度		2 2 年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	粗大ごみの搬入量	t	1, 382	1, 050	1, 396	1, 050	
	指標 2							
	指標 3							
活動指標	指標 1	資源化量	t	104	211	157	211	
	指標 2							
	指標 3							
成果指標	指標 1	資源化率	%	7. 5	19. 9	11. 2	19. 9	
	指標 2							
	指標 3							
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード		3236	事務事業名称	粗大ごみ処理施設管理事業			所属名	清掃センター
			単位	2 0 年度	2 1 年度		2 2 年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円					
		県	千円					
		地方債	千円					
		一般財源	千円	26, 607	30, 474	25, 410	34, 790	
		その他	千円					
	主な事業費の内訳			委託料 19, 765千円	委託料 22, 907千円	委託料 17, 912千円	委託料 21, 966千円	
人件費 (B)			千円	23, 322. 5	22, 921. 7	23, 027. 9	20, 384. 3	
ト ー タ ル コ ス ト (A) + (B)			千円	49, 929. 5	53, 395. 7	48, 437. 9	55, 174. 3	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分	理 由					
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている	環境に配慮した適正なごみ処理を推進するために、粗大ごみ処理施設管理事業を実施しており、上位の施策と結びついている。					
			☐ 結び付くが見直しの余地がある						
			☐ 結びつきが弱い・ない						
			☐ 評価対象外事項						
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している	粗大ごみの再資源化を更に進めて、処理量の削減化を推進していく。					
			☒ 達成していない						
			☐ 評価対象外事項						
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある	ごみの処理については、市固有の事業であるため民営化には馴染まない。					
			☒ 可能性はない						
			☐ 評価対象外事項						
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい	当初と状況が変わっていない。					
			☐ 見直す必要がある						
☐ 評価対象外事項									
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2、3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある						
			☒ 効率性向上の可能性はある						
			☐ 両方可能性がある						
			☐ 可能性がない						
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	☒ 民間委託等	受入監視業務については、現在、市職員と委託職員との混成配置により業務を遂行している。 この点について、市職員の退職等を期に段階的に民間委託の推進を図ることは可能である。						
									☐ 臨時的任用職員等の活用
									☐ I T 化等の業務プロセスの見直し
									☐ 受益者負担の見直し
									☐ 類似事業との統合・役割見直し
									☐ 上記以外の方法
	⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）	☒ ある	焼却炉・粗大ごみ処理施設運転管理業務委託の仕様内容の拡充を伴うもので、3年毎の契約スタンスでの検討が必要となる。						
		☐ ない							

コード	3236	事務事業名称	粗大ごみ処理施設管理事業				所属名	清掃センター
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			施設の老朽により性能が低下しつつあり、再資源化の効率の向上を図り、施設への負荷を低減させていく。 今後の方向性については、業務の内容や範囲に応じて、委託化の推進を図り、施設の計画的な点検保守及び整備体制の確立を図っていく。			
		☒ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
	☐ 廃止・休止							
☐ 事業完了								
☐ 現状のまま継続								
今後の方向性	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			再資源化の効率の向上を図り、施設への負荷を低減させると共に、委託化を推進し、コストの低減に努めるが、施設の老朽化が著しい為、トータル的には経費の増加が見込まれる。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☐	☒		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
特に無し									

所属長コメント	今後も経費の軽減を念頭に、施設の適正な維持管理に努め、継続して事業を実施していく。								
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続			施設管理に関する委託項目の見直しについては、課題解決に努め、順次推進すべき。					
	☒ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☐ 現状のまま継続									